

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 1月

0 はじめに

あけましておめでとうございます。令和初のお正月を迎えましたが、皆様にはおかれまして、お変わりありませんでしょうか。本校の指導もいよいよ3学期を迎え、どの学年にとっても重要な時期になってまいりました。

保護者の皆さまにおかれましては、学校からの通知や生徒からの連絡を把握していただき、適切な時間を持っていただき、生徒の進路についてお話をさせていただきたいと思っております。

時代は大きく変化しており、数年前の進学事情とは大きく異なってきております。是非、先入観にとらわれない、現実的な判断をお願いいたします。

今年も進学 Now!保護者版を奇数月の隔月にお届けしていきたいと思っておりますので、ぜひご覧いただき、ご意見をお寄せください。よろしくお願い申し上げます。

1 センター試験速報

最後のセンター試験が終わりました。来年からは「大学入学共通テスト」が始まります。今年度は、英語、数学ⅠAが難化し、全国的な平均点も大きく下がりました。

大手予備校等の予想では、文系・理系ともに昨年比-20点前後とされており、全国的に苦戦した様子が想像できます。

本校は、これまで県内唯一の「5年連続で平均点を上昇させた」進学校でしたが、今年度は残念ながらマイナスとなりました。特に650点以上の上位層が(-18名)と大きく減少したことは、衝撃でした。県内の進学校においても、A高(-17名)B高(-23名)C高(-20名)と苦戦した模様が伝えられておりますが、本県の受験状況が懸念されます。

問題の傾向としては、報道の通り①国語の漢文において風景のイラストを読み解く問題、②英語筆記におけるボールの的あて問題、③数学の文章を選択する問題、④日本史の図版と史料を合わせて答える問題など、新傾向が打ち出されました。

これらの問題は、新テストに向けての「思考力・判断力・表現力」等の能力を見る問題として注目を集めました。1・2年生の実施している外部模擬テストでは既にこの様な新傾向が顕著に表れており、学校側や生徒にとっては予想の範囲内での変化であり、注目する程ではありませんでした。

前述のとおり、受験情報は目まぐるしく変化しておりますので、今後の進学等に関する情報についても、各種のデータや大学側の発表にご注目いただき、お子様の指導にお役立てください。

2 英語力の評価が入試にも大きく影響しています。

英語4技能検定の共通テストへの導入につきましては、報道のとおり、延期されることが決定されましたが、その決定に関係なく、英語の重要性は益々高まってきたといえます。英語の検定が不要になったわけではありませんので、ご注意ください。

今年度に入試において、昨年度と大きく変化したもの一つに、「英語検定資格の提出」があげられます。昨年度からこの傾向は見られていたましたが、今年度は非常に多くなってきております。私立大学に出願する際、国公立大学のAO入試、推薦入試に出願する際に、英語検定資格の有無を問われ、その証明書の提出が義務付けられてきております。特に私立大学が急増しております。

また、国公立大学の2次試験においても、英語の配点が大きくなったり、新たに英語が受験科目に追加されるなど、英語のウエイトが大きくなってきております。

英語4技能検定延期の発表に関係なく、世の中(大学)が求める能力は、外国語に大きく傾いてきております。積極的に英語を学び、英語の資格を取っていくことが大切です。

3 2年生のこの時期

2年生にとっては、受験本番までちょうど1年となりました。この学年は、新入試が始まるなど変化の大きい学年であり、英語4技能検定や国語・数学の記述式問題の導入が延期させるなど、文科省の政策に振り回されていますが、求められている能力は、変化していません。

新たな時代に対応する「思考力・判断力・表現力」を身につけ、国際化や少子高齢化、環境問題などの大きな課題に対応していける、骨太な力が求められていることに、変化はありません。

コース選択が行われ、来年の入試の準備が始まっておりますが、安易に科目を絞ることなく、自分の能力が最大限に発揮できるコースを、冷静に判断して、選んで欲しいと思っております。

首都圏の高校では、これまでの指導法を大きく転換し、私立3教科型の生徒を5教科型に変えさせて、国公立大学向けの指導を強化してきております。

その理由は、私立大学の難化とブランド力の低下であるとされます。私立大学の入学定員の厳格化が3年前から始まり、首都圏の私立大学の合格者が大きく減少しました。その結果私立大学の受験者が激減し、地方の私立大学に流れました。その傾向が3年間続いたため、首都圏の私立大学を狙うカリキュラムを変更し、5教科型で国公立大学を狙わせる傾向に変化しました。

また、「GMARCH」と称された大学群も、近年は「SMART」と変更されつつあります。S=ソフィア(上智大)、「MART」は従前通りの大学を表しており、「早慶」と「SMART」に変化しました。「S」がIランク下がり、「G」と「H」は脱落しました。

少子化が進行中であるにも関わらず、大学の定員が変化していないことから、合格者のゾーンが下がってきており、企業側の受け止め方が変化してきたためと考えられております。

その結果、地方国公立大学の倍率が上昇してきており、難関大以外の中堅大学の難易度が上がってきております。

一方、推薦、AO入試の枠が広がってきており、日頃から真面目に学校生活を送っている学生に有利な評価方法が広がっています。毎日の学びを大切にしたいと思っております。

4 1年生のこの時期

1年生も文理選択の時期になりました。文理の選択は、来年度の授業にも大きく関わりますので、学校からの通知や生徒からの連絡を、十分にご確認下さい。

前述の通り、大学改革や入試改革が進行しており、英語の重要性が高まるとともに、私立と国公立のバランスも変化しております。また、「文理融合型」の大学も増加しており、大学情報を集めておくことが1年生から必要になってきております。

単純に、「得意な科目」「不得意な科目」を見るだけで無く、将来を見据えた冷静な判断が求められてきます。

生徒の持つ知識はまだまだ限られており、今まで見たことのある職業しか認識できていません。また、大学に関する考え方や情報も限定的です。とりあえず「理系」という保護者の皆様の学生時代(高度経済成長期)の常識も今では通用しなくなっています。

新たな時代に合わせた新たな発想で、「時代を読み」「進路を選ぶ」時代となりました。先入観にとらわれず、情報を十分に集めて、適切な進路選択をアドバイスしていただきたいと思っております。

5 終わりに

どの学年も本当に重要な時期になりました。保護者の皆様には是非お願いしたいのは、ご家族での話し合いのお時間を持っていただきたいということです。3年生になって、「こんなはずではなかった」という失敗につながらないように、お時間を取って十分にお話し合いをして下さい。

また、わからない点や疑問点については、遠慮無く学校までお問い合わせ下さい。職員一同、全力でサポートして参りたいと思っておりますので、学校からの連絡にも十分に目を通して下さるようお願い申し上げます。

(進路指導部)